

5 もうひとつのクレジット～個別クレジット～

- 1 カードなしで、利用する度に申し込むタイプのクレジットです。
- 2 主に自動車やジュエリーなど、高額な商品を購入する場合に利用されます。
- 3 不適切な訪問販売で、高額な布団など不要不急な品物やリフォーム工事などを個別クレジットを利用して購入してしまうトラブルが後を絶ちません。特に高齢者が狙われるので注意が必要です。
- 4 スマートフォン契約にも個別クレジットが広く利用されています。スマートフォンを契約する場合、通信契約と共に本体機器を購入します。本体機器は高額であるものが多いので、個別クレジットを利用して分割払いとし、毎月の通信料とともに支払います。



購入するつもりがなければ、きっぱり断りましょう!

ここがポイント!!

うっかりスマートフォンの通信料金を延滞すると、同時にクレジットも延滞することになります。その事実が個人情報情報機関に延滞情報として登録されると、クレジットカードだけでなく、将来、奨学金や住宅ローンの利用にも支障となる恐れがあります。



◆消費生活相談◆

消費生活における各種トラブルに直面した際に、トラブル解決のための助言やあっせんを行う身近な消費生活相談窓口につながり、相談を受けることができます。

☎ 消費者ホットライン 188 (イヤヤ! 泣き寝入り)
(身近な消費生活相談窓口につながります)

◆生活再建支援相談◆

借金返済のために借金をしている、住宅ローンや教育費が家計の負担になっているなど、お金のことで悩んでいる方からの相談を受け付けています。

- 相談できる方：神奈川県内に在住又は在勤・在学の方
- 電話相談：☎045-312-1881
月曜から金曜（年末年始及びかながわ県民センター休館日を除く）13時～18時
- 面接（予約制）：事前に電話045-312-1881で要予約
- 相談窓口設置場所：かながわ中央消費生活センター
(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内)

③ ページの答え 「支払は永遠に続く」です。

【計算式】100万円×15%÷12ヶ月=12,500円>10,000円
1ヶ月の手数料が12,500円と、毎月の支払額10,000円より多いので、元金は全く減りません。したがって、支払は永遠に続くこととなります。



知っておきたいクレジットカードのしくみ

★クレジットカードの利用額は、増加!

消費支出は伸び悩んでいる一方、クレジットカードによる取引額は年々増加し、過去15年の間に約3倍になっています。

★クレジットカードが利用できるシーンも、拡大!

おにぎり1個からETC、ネットショッピング、そして税金納付まで、利便性が高まっています。

★トラブルに巻き込まれることも!

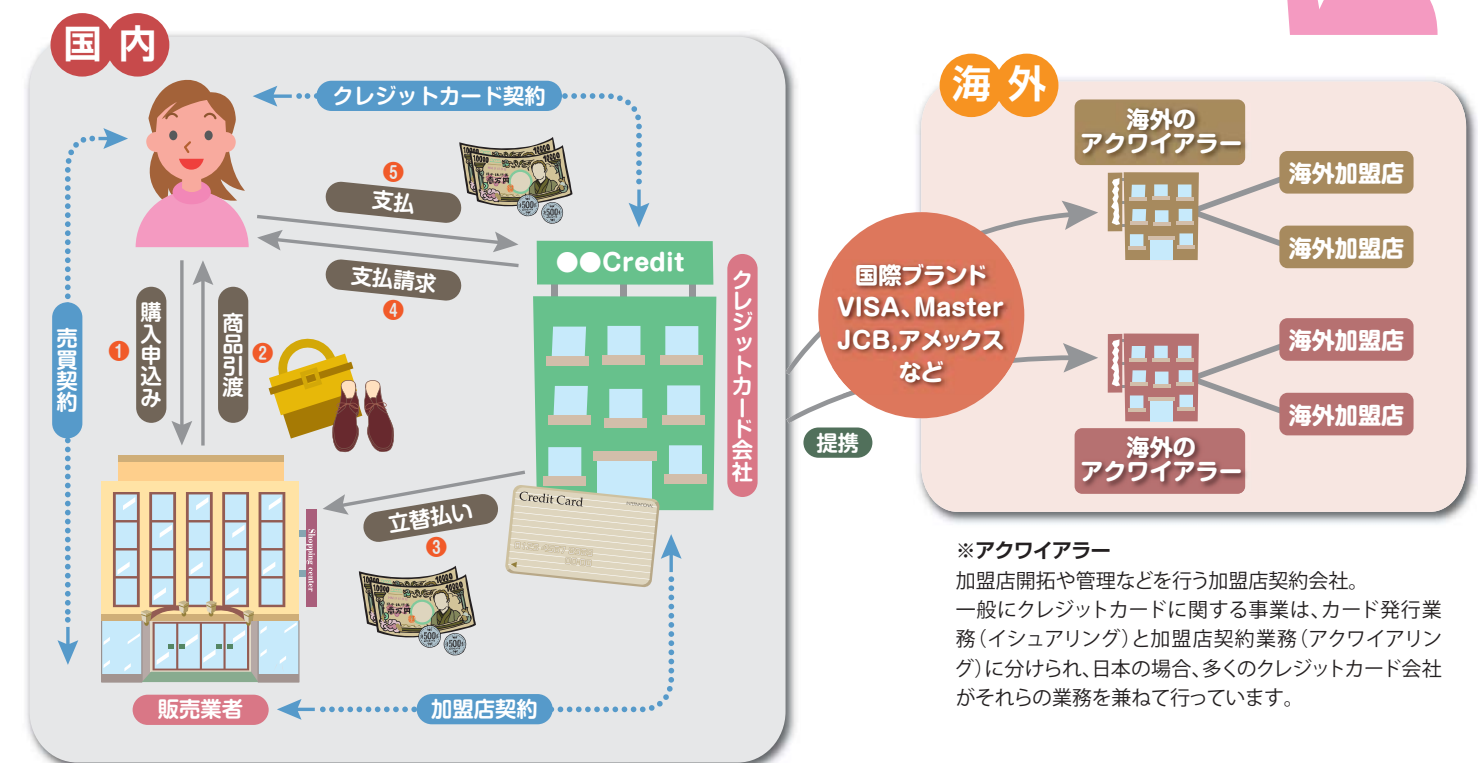
不正使用されたり、使いすぎて支払に追われたりする例が後を絶ちません。

クレジットカードを上手に使いこなすため、トラブルに遭遇しないため、クレジットカード特有のしくみやルールを理解しましょう。

1 クレジットカードのしくみ

近所のスーパーで申し込んだクレジットカードが、世界中で利用できるのはなぜ?

- クレジットカード取引は、基本的にクレジットカード会社、カード会員、加盟店の3者で行われます。
- 国内のクレジットカード会社が発行するカードでも、国際ブランドと提携されていれば、世界中で利用することができます。



※アクワイアラー
加盟店開拓や管理などを行う加盟店契約会社。一般にクレジットカードに関する事業は、カード発行業務(イシュアリング)と加盟店契約業務(アクワイアリング)に分けられ、日本の場合、多くのクレジットカード会社がそれらの業務を兼ねて行っています。

2 クレジットカードの申込みから発行まで

申込み 消費者

- 審査に影響します。申込書はもれなく正確に記入しましょう。
- 「リボルビング払いサービスの登録」、「キャッシングの利用額」などの希望を申込時に申請する場合があります。申込がどんな内容なのか、しっかり確認してから記入しましょう。



審査 クレジットカード会社

- あなたの信用度(クレジット)と支払能力をチェックします。
 - ・ 申込書の内容
 - ・ クレジットカード会社保有の独自情報
 - ・ 指定信用情報機関注1 に登録されている情報



以上を材料に、法律に従ってあなたの「支払可能見込額調査」注2 を行います。さらに自社の基準で総合的に判断し、クレジットカードを発行するか否かを決定します。

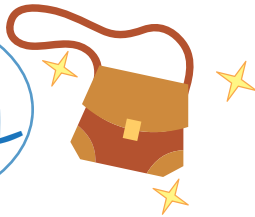
注1 指定信用情報機関は、経済産業省によって指定された法人。クレジット業界が共同設立し、消費者の債務残高、支払履歴等を記録管理しています。
注2 クレジットカードの使いすぎによる多重債務を食い止めるため、クレジットカード会社は法律によって「支払可能見込額調査」を義務付けられています。

3 クレジットカードの支払方法について

翌月一括払い(マンスリークリア)

- **メリット** 手数料がかからない。
- **デメリット** 高額な買い物しても翌月全額払わなければならない。

取引の
9割以上がコレ



分割払い

回数を決めて毎月払う。(3回、4回、5回・・・)

- **メリット** 自分の支払える範囲で、支払回数をコントロールできる。
- **デメリット** 手数料がかかる。後から回数を変更できない。

3回で



リボルビング払い(リボ払い)

利用した金額にかかわらず、毎月一定額を支払う。

- **メリット** 買い物が重なっても毎月の支払額が一定。支払額を後から変更(増額)できる。
- **デメリット** 支払がいつ終わるか分かりにくく、手数料もかさむ。



リボ払いには、多くの種類があります。

- ① 当初一括払いで利用しても、後からリボ払いに変更できる。
- ② 原則一括払いだが、利用金額が一定額を超えると自動的にリボ払いになる。
- ③ リボ専用カード。店頭で「一括払いで」と申し入れても、全てリボ払いになる。
- ④ 利用残高が一定額を超えると、毎月の支払額が自動的に増額される。

クレジットカードの支払方法は、会員規約に記載されています。「こんなはずじゃなかった!」と慌てないためにも、必ず確認しましょう。



ここで
問題です

- Q** 100万円を手数料15%で利用しました。毎月1万円ずつ支払うと、支払終了まで何年かかりますか。
(答えは4ページに)▶

リボ払いを利用するときのポイント

- 自分のクレジットカードのリボ払いの種類、しくみを確認する
- 翌月に残高がなるべく残らないように、毎月の支払設定額を高く設定する
- 臨時収入があった場合などはこまめに増額して支払う

いつまで
払うの?



4 クレジットカードのトラブルを防ぐために

～消費者にできること～



1 保管は厳重に

子どもも含め家族が不正利用する例も多く、その場合にも本人の保管義務が問われます。

2 休眠カードは解約する

無駄な年会費を払わなくて済むだけでなく、盗難紛失のリスクを減らせます。

3 支払明細書は必ずチェック

ペーパーレスでも必ず目を通し、覚えのない請求があればすぐに申し出ます。

4 名義を貸さない、借りない

だれが利用しても、名義人に支払義務があります。

5 インターネットでは専用カードを利用する

万一漏えいした場合も被害を最小限にするため、利用可能額を低く抑えた専用カードを使うのもよいでしょう。

6 インターネットやパソコンにクレジットカード情報を残さない

インターネットやパソコン・スマートフォンにクレジットカード番号などの情報を残すと漏えいの危険があります。面倒がらずに毎回入力しましょう。アプリやセキュリティソフトを最新の状態にしておくことも忘れずに。

7 クレジットカードのショッピング枠の現金化は絶対にしない

「クレジットカードのショッピング枠の現金化」とは、本来、商品やサービスを後払いするために設定されている「ショッピング」の利用可能枠を換金する目的で利用することです。クレジットカード会社はこれらの行為を認めていません。また、犯罪やトラブルに巻き込まれる場合もありますので、誘いがあっても絶対に断りましょう。

8 継続的な支払にクレジットカードを利用する場合の注意点

例えばスポーツクラブの会費を毎月クレジットカードで支払っている場合、クレジットカードを退会しても、スポーツクラブを退会しない限り、支払は継続します。